



輝け、
カガクで。

Activate Your Life

決算補足説明資料

2025年12月期 第3四半期



日華化学株式会社

東証スタンダード:4463 | 2025年10月31日

目次

01

2025年12月期第3四半期 決算概要

02

2025年12月期通期 業績・配当予想

03

Appendix

01

2025年12月期 第3四半期

決算概要

売上高・営業利益ともに、3Qおよび1～3Q累計で過去最高 経常利益・四半期純利益は為替の影響を受け減益

化学品事業

増収・増益

累計／売上高、セグメント利益額・率ともに過去最高

- EHD※関連製品売上高比率増による利益率向上
- 主力の繊維化学品／足元ランプ関税の影響で稼働減速も中国中心に大手加工場高稼働
- 半導体加工用クーラント剤回復途上
- 金属加工用洗浄剤伸長

※ E(環境/Environment)、H(健康・衛生/Health)、D(デジタル、先端材料/Digital)向けの高付加価値製品

化粧品事業

増収・増益

3Q、1～3Q累計／売上高は過去最高

- ODM事業好調
- デミ 新商品、注力商品販売堅調
- デミコリア 韓国経済不調の影響継続

2025年12月期第3四半期 連結決算概要

(百万円)	2024年12月期 3Q実績		2025年12月期 3Q実績		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高	39,476	100%	41,217	100%	+1,740	+4.4%
■ 化学品事業	29,083	73.7%	29,475	71.5%	+391	+1.3%
■ 化粧品事業	10,157	25.7%	11,344	27.5%	+1,186	+11.7%
その他	235	0.6%	397	1.0%	+162	+68.9%
営業利益 (営業利益率)	2,508 (6.4%)	-	2,901 (7.0%)	-	+392	+15.7%
■ 化学品事業(セグメント利益)	2,813	70.9%	2,979	66.8%	+165	+5.9%
■ 化粧品事業(セグメント利益)	1,153	29.1%	1,430	32.1%	+276	+24.0%
その他	△5	-	50	1.1%	+56	-
消去等	△1,452	-	△1,558	-	△105	-
経常利益	2,839	-	2,759	-	△80	△2.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,848	-	1,613	-	△235	△12.7%

為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル	中国元	ウォン	国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q	2Q	3Q予想	4Q予想
	148.82円(1.2%円高)	(1.7%円高)	(6.2%円高)		73,400円(+1.2%)	66,300円(△16.2%)	63,400円(△17.6%)	66,200円(△9.6%)

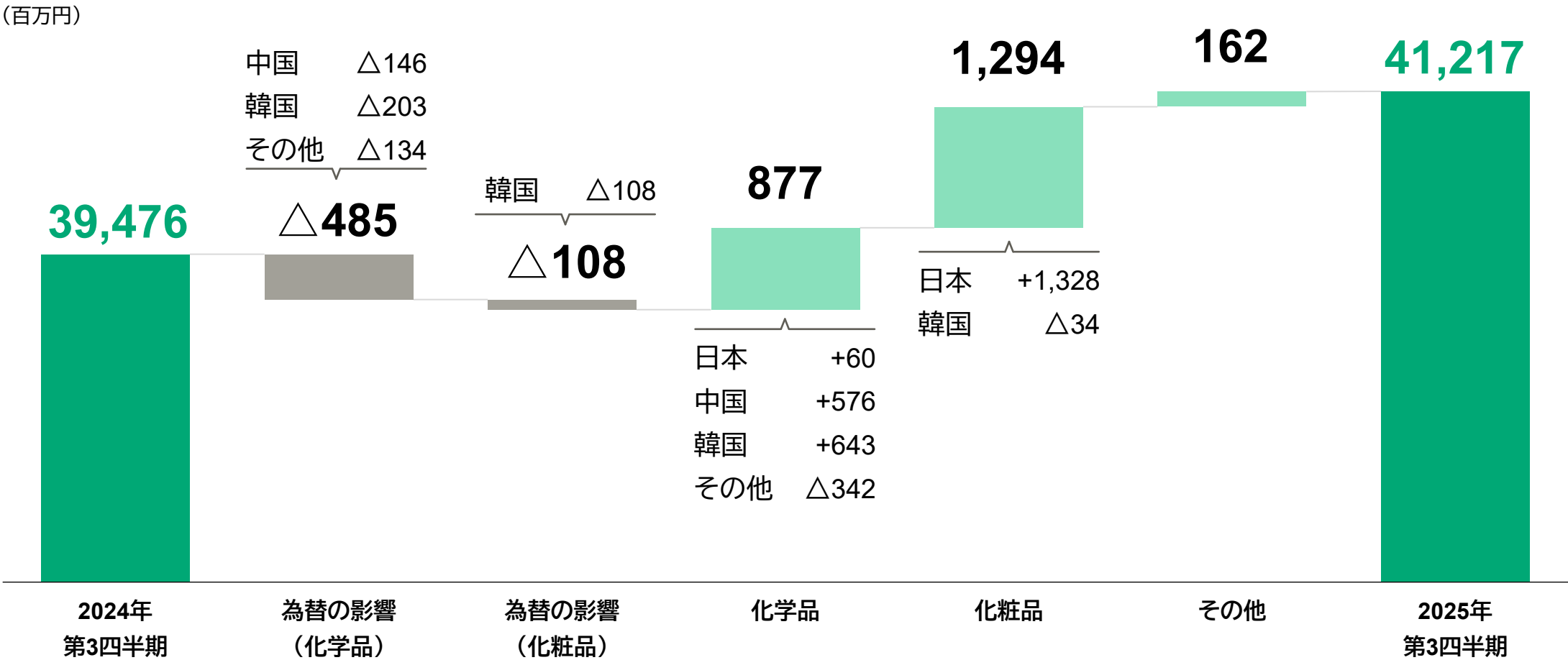
経営指標の概要／年間配当

- ROA、ROIC、EBITDAは営業利益増加により向上、純利益減によりROEは減少
- 株価+17%（前年同期末比）によりPBRが向上

	2024年12月期 3Q実績	2025年12月期 3Q実績	増減額	増減率
(百万円)				
ROA	5.7%	6.0%	-	+0.3 pt
ROE	8.0%	6.4%	-	△1.6 pt
ROIC	5.6%	5.8%	-	+0.2 pt
PBR	0.59倍	0.69倍	-	+0.10 pt
EBITDA	4,161	4,479	+318	-
減価償却費	1,652	1,578	△74	-
年間配当(円)	52	60 (予定)		

連結売上高 増減要因(対前年)

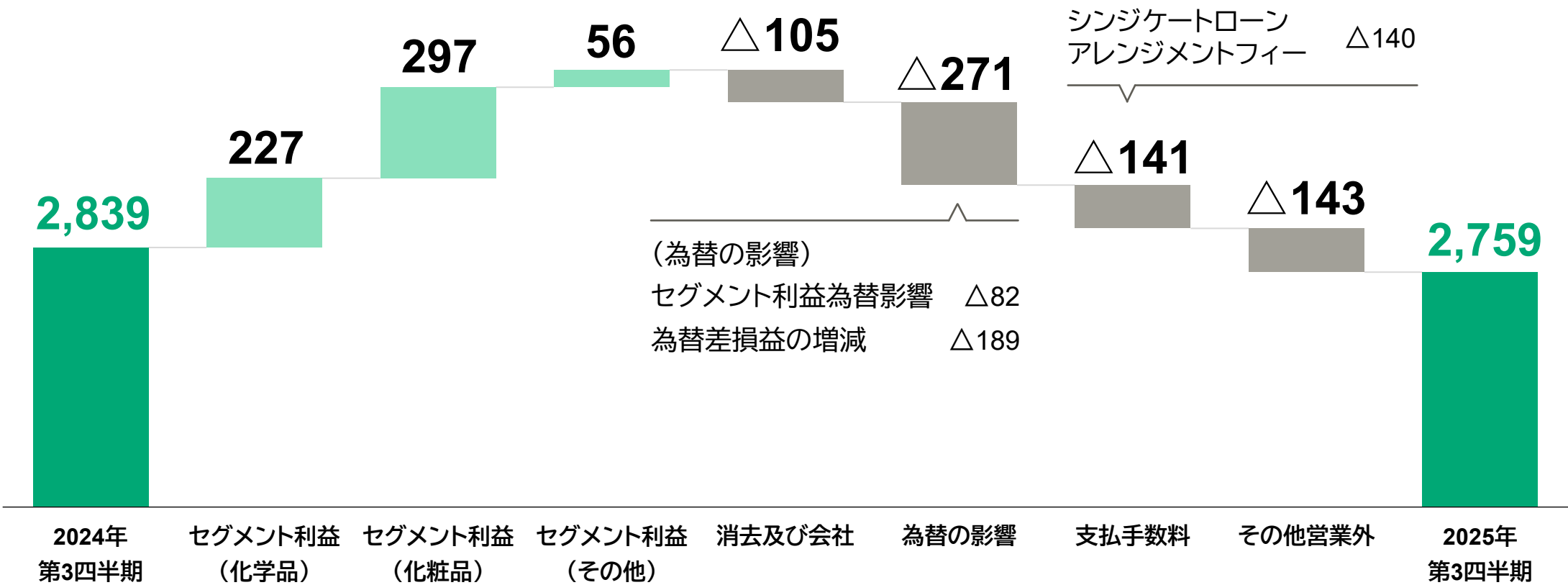
- 為替の影響:化学品△4.8億円 化粧品△1億円
- 化学品+8.7億円 化粧品+12.9億円



連結経常利益 増減要因(対前年)

- セグメント利益 化学品+2.2億円 化粧品+2.9億円
- 為替差損益の影響 為替期末日レート(\$) 24年12月158.17円→148.89円 9.28円円高

(百万円)



セグメント概要

化学品事業

- 創業以来培った繊維加工のトータルソリューション技術を幅広い市場に応用
- 2015年に大智化学産業を買収し、成長著しいデジタル分野にも展開



繊維加工用薬剤



クリーニング用薬剤



スペシャリティケミカル
(特殊化学品・機能化学品)



スペシャリティケミカル
(先端材料)

主要な 関係会社

- 大智化学産業株式会社(半導体産業向け)
- 日華化学(中国)有限公司
- NICCA KOREA CO., LTD. 他13社

化粧品事業

- 主力ブランド「DEMI」を中心とした、プロフェッショナル向け美容室専売品の研究開発
- お客様の声に耳を傾け、髪健康と美しさを追究



ヘアケア



スカルプケア



ヘアカラー



スタイリング

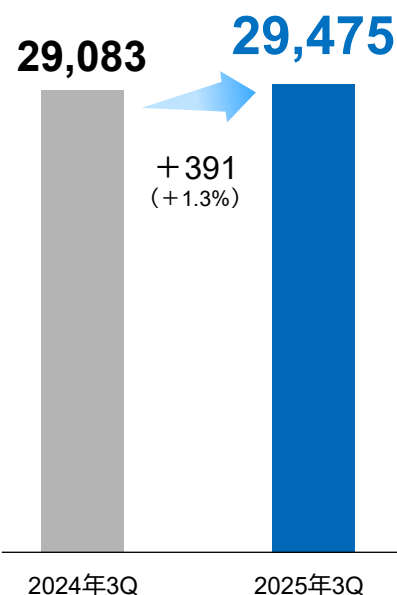
主要な 関係会社

- 山田製薬株式会社(化粧品OEM/ODM)
- イーラル株式会社
- DEMI KOREA CO., LTD. 他3社

- ・トランプ関税の影響は受けたが、EHD好調、中国・インド等伸長により、累計で売上高・セグメント利益額・率ともに過去最高

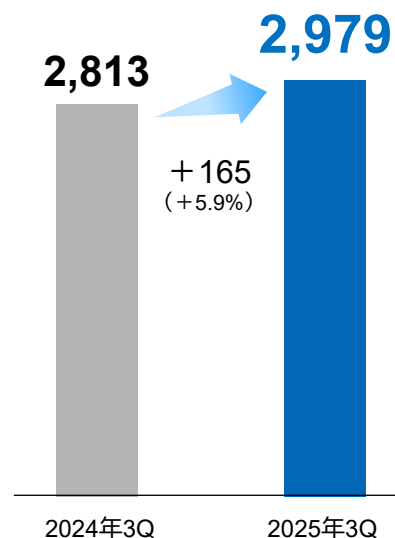
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



主な増減要因

繊維化学品分野

- + EHD※関連製品販売 引き続き好調
フッ素フリー系撥水剤、環境配慮型工程薬剤など
- + 中国中心に海外大手繊維加工場の高稼働(～4月)
- 5月～トランプ関税の影響で海外繊維加工場稼働減速
- + インドビジネス成長

電子材料関係分野

- + 半導体加工用クーラント剤回復途上(前年1Q低調)
- + グローバルで新規ビジネス増加

機能化学品分野

- + 金属加工用洗浄剤伸長

セグメント利益

- + EHD※関連製品(高付加価値品)売上高比率増
- 人件費増加

※ E(環境/Environment)、H(健康・衛生/Health)、D(デジタル、先端材料/Digital)向けの高付加価値製品

為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル	中国元	ウォン	
	148.82円 (1.2%円高)	(1.7%円高)	(6.2%円高)	
国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q	2Q	3Q予想	4Q予想
	73,400円 (+1.2%)	66,300円 (△16.2%)	63,400円 (△17.6%)	66,200円 (△9.6%)

施策	進捗状況／第3四半期
成長・高収益事業への傾注 • EHDに紐づく新規ビジネス・新規エリアの獲得（EHD売上比率50%） • グループ一体となったグローバル拡販 • デジタル領域のグローバル展開と新規ビジネスの創出	• EHD関連製品売上高比率 3Qで45.0%（前年同期比+0.9pt） *EHD製品利益率 +10%〈従来製品比、24年12月期実績〉 • 新規ビジネス・エリア／新たな電子材料分野の取組開始、繊維加工薬剤でインド伸長 • グローバル拡販／フッ素フリー系撥水剤、環境配慮型工程薬剤 伸長継続 • デジタル領域グローバル展開／台湾、韓国中心に推進中
収益性向上 • 戦略的調達によるコストダウン（中国、インド、オレオ化学品） • マーケティング力とプライシング力の強化 • リスクマネジメント（為替、地政学）	• マーケティング力・プライシング力強化／一部価格改訂・原料代替取組中 • リスクマネジメント／トランプ関税による影響継続注視



バングラデシュにおける保税倉庫建設を再開 2027年1月営業開始予定

- 2025年8月、延期していたバングラデシュにおける保税倉庫建設プロジェクトの再開を決定
- 現地在庫の活用によるリードタイムの短縮や、100%輸入に依存している原材料の代替提供を通じて、顧客満足度の向上と市場シェアの拡大を目指す

建設再開の経緯、今後のスケジュール

2023年



2025年8月

バングラデシュ経済特区の土地購入および投資許可を取得後、保税倉庫建設に着手も、現地の法改正や政変の影響により一時中断

2025年10月

保税倉庫建設開始

2026年7月

竣工

2027年1月

営業開始予定

起工式の様子(10月14日)

経済特区開発風景(BSEZ資料より引用)
※赤枠内が当該敷地

■ バングラデシュ経済特区(BSEZ)概要

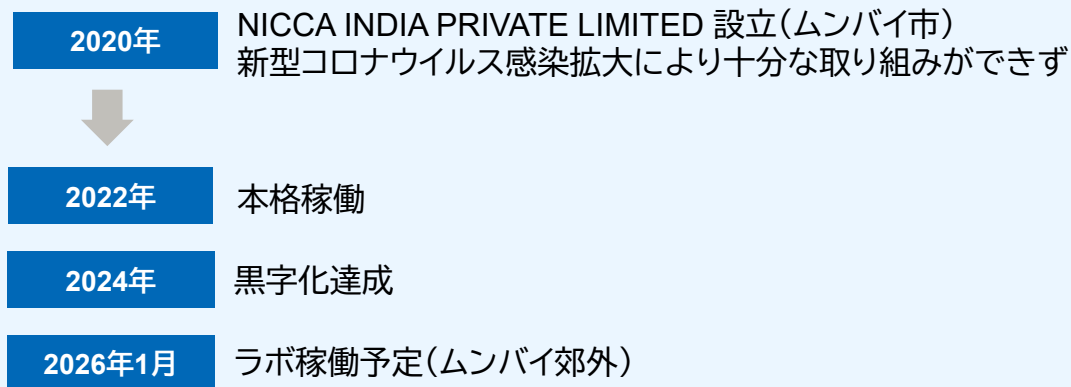
事業主体	Bangladesh SEZ Ltd
出資比率	住友商事㈱ 61%、JICA 15%、バングラデシュ経済特区庁(BEZA) 24%
所在地	バングラデシュ ダッカ管区 ナラヤンガンジ県(ダッカ市内から車で約50分)



**NID(インド)2024年黒字化
2025年は更なる成長見込み、2026年ラボ稼働予定**

- NICCA INDIA PRIVATE LIMITED (NID) では、2022年に本格始動して以降、2024年に黒字化
- 現地のお客様現場での使用環境・条件に合わせ、ニーズに合った製品開発を加速化させるため、ラボ(研究施設)の新設を決定
- 中国に次ぐ第2の巨大マーケットであるインド市場での更なる販路拡大を目指す

インドビジネスの歴史、今後のスケジュール



NICCA INDIA PRIVATE LIMITED





大阪・関西万博に「ネオクロマト加工®」出展 ポリエステル繊維アップサイクル技術を発信

- 2025年10月5日(日)～7日(火)、大阪・関西万博内 EXPOメッセ「WASSE」にて、日本弁理士会主催「万博で未来を体験しよう」(学生向けビジネス／技術アイデアコンテスト)に出展
- 水を使わずに、ポリエステル繊維を脱色する独自技術「ネオクロマト加工®」の実演プレゼンを実施



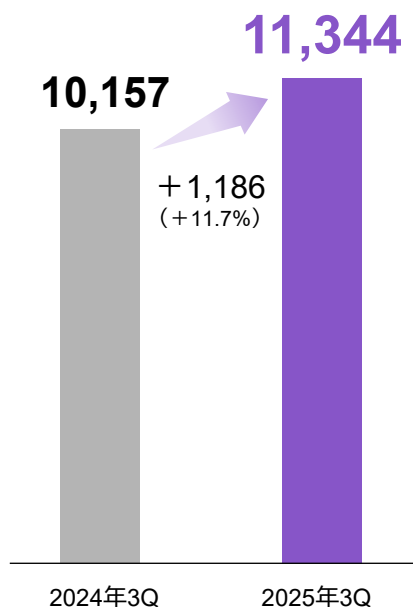
主な成果・反響

- 来場者数:延べ約**1,700名**(学生36チームを含む)
- 学生から「水を使わずに色が抜けてすごい」「再利用の可能性を感じた」など多数の声
- **武藤経済産業大臣(当時)**が当社ブースを訪問し、環境技術を視察

- ODM事業好調、新商品・注力商品販売堅調で、韓国経済不調の影響はあるものの、増収・増益
- 3Qのみ、1～3Q累計ともに売上高は過去最高

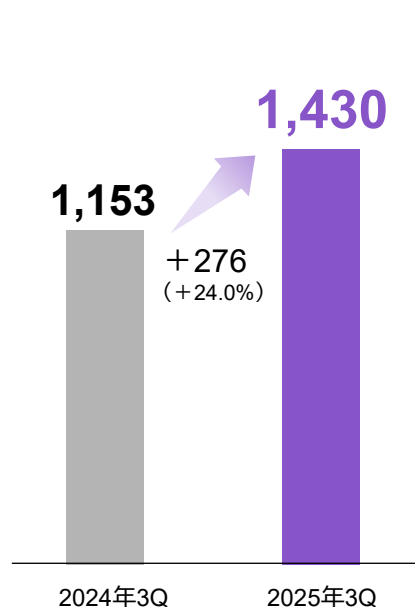
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



主な増減要因

売上高

日華化学デミ コスメティクス(国内サロン向け)

- + 新商品、注力商品販売堅調(特にフローディアモアが好調)
- 国内美容サロン市場、酷暑による来店客数減

山田製薬(国内ODM)

- + ODM事業好調
既存大口ODM受注減も、前年新規ODM(EC専業ヘアケア等)の受注大幅増継続

デミコリア

- + 韓国市場専用ヘアケア販売増
- 韓国経済不調の影響継続

セグメント利益

- + 売上増に伴う利益増
- 人件費増加

為替 ※期中平均
(カッコ内:前年同期比)米ドル
148.82円
(1.2%円高)中国元
(1.7%円高)ウォン
(6.2%円高)

国産ナフサ

(カッコ内:前年同期比)

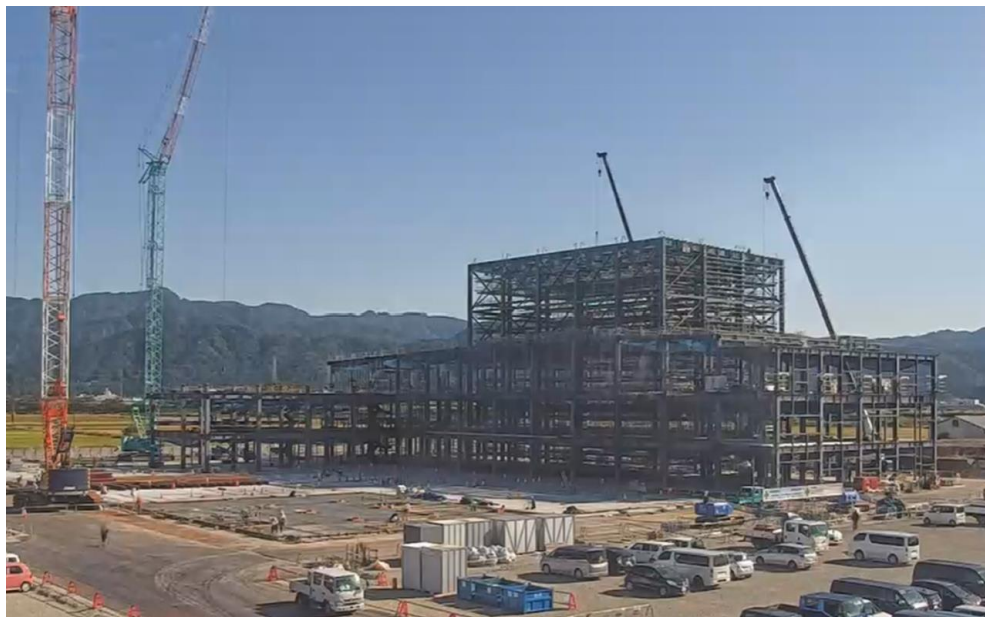
1Q
73,400円
(+1.2%)2Q
66,300円
(△16.2%)3Q予想
63,400円
(△17.6%)4Q予想
66,200円
(△9.6%)

施策	進捗状況／第3四半期
優良サロンの獲得 ・営業人員増強によるサロンサポート強化 ・DEMI LABOを起点としたユーザー認知と顧客獲得	 ・営業人員増員、新規サロン獲得・既存サロン顧客内シェア拡大に向けた活動を強化 ・オウンドメディア「DEMI LABO」PV数 25/2Q比で+21% ・トライアルEC購入者数 25/2Q比で+11%
新商品によるサロン内シェアアップ ・新ブランド「サマーバー」、「DEMI DO」追加品	 ・ヘアケア／サマーバー 堅調に推移(前年同期ハレマオ比+30%) ・DEMI DO 追加品 拡販中
デミコリア／店販を基軸にシェア拡大	 ・ヘアケア売上 +10%
化粧品新工場建設開始	 ・予定通り進捗(基礎工事完了、鉄骨建方約50%完了)



化粧品新工場建設 予定通り進捗

- ・ 2027年の本格稼働に向け、2025年4月に着工。2025年12月には上棟式を予定
- ・ 名称は「福井スマートファクトリー」に決定



建物の骨組みとなる鉄骨を組み上げている様子(10/24時点)

化粧品新工場 概要

- ・ 製造キャパシティ**3倍**
- ・ 自動化による人時生産性**1.5倍**
- ・ CO₂排出削減など**環境対応工場**



本格稼働	2027年
建設予定地	福井県福井市稲津町・ 荒木新保町 (北陸道福井ICより0.5km)
面積	土地／39,772㎡ 建物／23,000㎡(延床面積)

投資規模	約195億円
補助金上限額	49億 9,991万円(補助率1/3)
資金調達	総額140億円の シンジケートローン



当社スカルプケア技術が 令和7年度近畿地方発明表彰「日本弁理士会会長賞」を受賞

- 2025年10月30日、当社と国立研究開発法人理化学研究所による共同発明「育毛効果を有する頭皮頭髮用化粧料」が、高い技術的独創性と社会的貢献度が認められ、「日本弁理士会会長賞」を受賞

発明の概要

- 植物由来成分を組み合わせ、毛髪の成長を助けるたんぱく質「FGF-7」を増やし、科学的根拠に基づく新しい育毛メカニズムを確立
- 3カ月という短い使用期間でも、抜け毛数の減少や、毛髪1本1本が太くなるという変化が視覚的に明らかに
- 安全性と有効性を両立

育毛作用試験前後の頭頂部写真



試験前



試験後（3カ月使用）

受賞名	日本弁理士会会長賞
受賞発明／特許番号	育毛効果を有する頭皮頭髮用化粧料／特許第7323143号
受賞者	日華化学(株) 毛髪科学研究所 小竹 彩香・新 菜摘・谷口 優子 (株)オーガンテック(元国立研究開発法人 理化学研究所) 辻 孝・小川 美帆

02

2025年12月期 通期

業績・配当予想

2025年12月期通期 連結業績予想

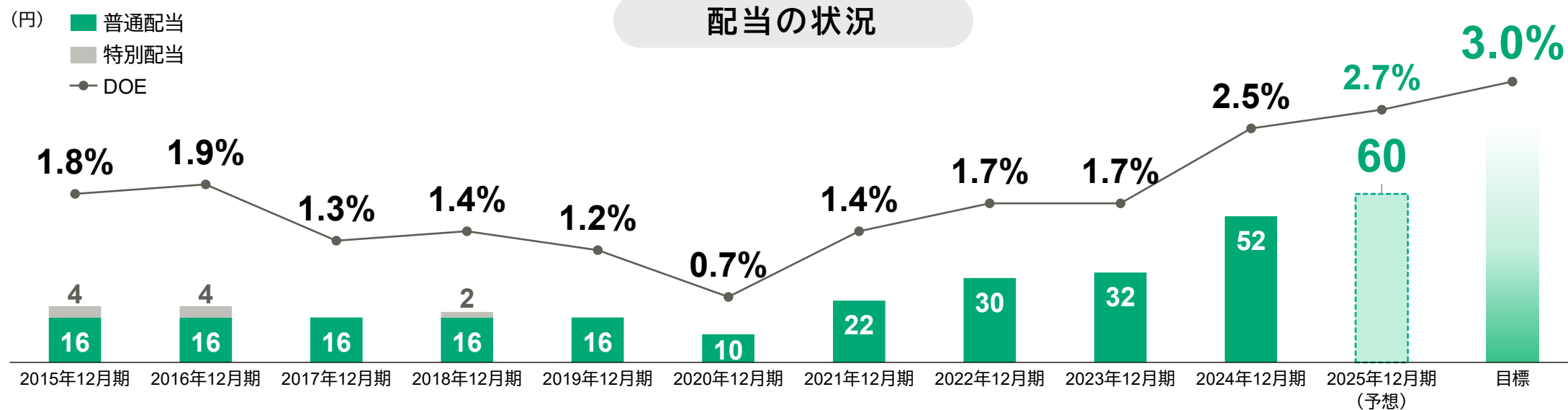
- 2025年7月31日公表の業績予想から変更なし
- トランプ関税の影響を受けるものの、通期売上高・営業利益は過去最高となる見込み
- 一方、経常利益・当期純利益は為替の影響等踏まえ減益見込み

				(7月31日時点)			
(百万円)				2024年12月期 実績		増減額	増減率
				構成比	2025年12月期 予想		
売上高				54,099	100%	+2,901	+5.4%
■ 化学品事業				39,378	73%	+2,122	+5.4%
■ 化粧品事業				14,271	26%	+429	+3.0%
その他				449	1%	+351	-
営業利益				3,519	-	+81	+2.3%
(営業利益率)				(6.5%)	-		
■ 化学品事業(セグメント利益)				3,724	66%	+46	+1.2%
■ 化粧品事業(セグメント利益)				1,822	33%	+18	+1.0%
その他				58	1%	+2	-
消去等				△2,085	-	+15	-
経常利益				3,976	-	△576	△14.5%
親会社株主に帰属する当期純利益				2,754	-	△354	△12.9%
為替	米ドル	国産ナフサ	上期	下期			
	147円		73,200円	65,600円			

株主還元方針／配当予想

- 2025年12月期通期配当予想は60円(前年同期比+8円)、DOE2.7%(同+0.3ポイント)で5期連続増配
早期のDOE3.0%を目指す

	変更前	変更後(2024年7月31日)
基本方針	安定配当	安定配当＋累進配当
目標水準	配当性向30%を目安	2～3年以内にDOE3%を目指し、 その後も高めることを継続検討



04

Appendix

会社概要

商号	日華化学株式会社(証券コード 4463)
本社	福井県福井市文京4丁目23-1
創立	1941(昭和16)年9月15日
資本金	28億9,854万円
発行済株式数	1,771万株
決算期	12月31日
従業員数	連結／1,590名 単体／637名(2025年9月30日現在)
事業内容	繊維を主とする各種産業用界面活性剤 および化学品、化粧品等の製造・販売
上場証券取引所	東証スタンダード、名証プレミア



輝け、カガクで。

Activate Your Life

お問い合わせ先

日華化学株式会社 IR担当

 (0776)25-8584(直通)

 ir@niccachemical.com

この資料には、2025年10月31日時点の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。

経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。